

数物科学専攻	研究分野	幾何学	Lab. ID MP02
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>幾何学は、図形や空間を考察対象として扱う数学の分野です。対象や方法、公理系などの違いから、様々な幾何学が存在し、それぞれ活発に研究されています。また、幾何学は分野の性格から、代数学、解析学といった数学の他分野はもとより、物理学を含む理学、工学や情報学などにも応用されています。様々な幾何学の中で、本研究室では主に位相幾何学、幾何解析学、四元数幾何学、複素幾何学の研究に取り組んでいます。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>【博士前期課程】1年生では、研究テーマに関する基礎的な文献を選び、それをもとに輪講形式のセミナーを行い、研究分野の理解を深めます。2年生では、学生の興味に応じて研究課題を定め、関連する学術論文を精読しながら修士論文を執筆することになります。</p>			
<p>【博士後期課程】博士論文作成に向け、修士論文をもとに1年目から研究課題に取り組めます。教員は学生が取り組んでいる課題をもとに研究指導を行います。学生が自立した研究者となるため、本研究室では研究集会や勉強会への学生の参加を積極的に支援しています。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>本研究室が所属する数学コースでは、学生の学ぶ場として院生室を設けており、大学院生1人1人に机とスペースが与えられます。また、各院生室には共有のPCとプリンターが完備されています。セミナー発表では、教員から文献に書かれている以上のことを尋ねられるので、所属学生は多くの時間を使って予習・復習を行います。また本学の利点として、教員と学生との間の距離がそれほど遠くはなく、しっかりとした研究指導が受けられます。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>本学の数学コースは歴史があり、幾何学研究室においてもこれまで多くの優秀な人材を育成し輩出してきました。その伝統を大切に、しっかりとした実力を持ちつつ新しいことにも挑戦していきたいという高い志を持つ学生が来ることを期待しています。幾何学研究室に所属した学生の進路は、中学校・高等学校の数学教員の他に、国家公務員、民間企業の研究職に就く人もいます。幾何学講座では、しっかりとした数学の力を持ち、どこにおいても期待される人材となるよう教育・研究指導を行っています。</p>			
研究室連絡先メールアドレス		宮地秀樹 <miyachi*at*se.kanazawa-u.ac.jp>	